

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|--------------|-----|--------|-----------|---|
| 法人名 | ながおか医療生活共同組合 | 代表者 | 羽賀 正人 | 法人・事業所の特徴 | 法人は複数の診療所と介護事業を展開している医療生活協同組合で、当事業所はH19年11月に開設した小規模多機能型居宅介護である。同一の敷地内に介護付有料老人ホームやショートステイが併設されている。協力医療機関である診療所や隣接の看護師と蜜に連携を図って、ご利用者が安心して暮らせるようにしている。 |
| 事業所名 | プラット高町 | 管理者 | 田井 久美子 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| | 1人 | 2人 | 1人 | 0人 | 1人 | 1人 | 0人 | 2人 | 0人 | 8人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|--|---|---|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ●年2回のアンケートを実施して、ご利用者やご家族の意見を集約して課題を抽出して評価に繋げる。 ●改善計画を実現可能で評価しやすいように、具体的に記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●年2回のアンケートを実施し、ご利用者やご家族の意見を集約し課題に取り組むことができた。 ●事業所評価の改善計画は具体的にし、事業所外の方にもわかりやすく、評価の参考になるよう配慮した。 | <ul style="list-style-type: none"> ●目標を立てたものの振り返りがなかった為、評価に変化がなかった。結果として取り組みが不十分であったのではないかと感じている。 ●職員が一生懸命に取り組んでいたと思う。このまま取り組んで行って欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ●改善計画は、実現可能な計画とし、確実に取り組めるようにする。 ●目標に対しての振り返りを行い年間を通して目標に取り組んでいく。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | <ul style="list-style-type: none"> ●廊下等の床掃除については継続して毎日行い、居室の掃除を週1回から2回に増やし、必要に応じて適宜掃除を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ホールや廊下などの共用部は毎日清掃を行い、居室も週2回の清掃を実施し環境整備に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●施設内の環境整備は行うことができたが、外観の清潔感が欠けているようなので整理整頓が必要と思われる。 ●施設内の環境は良いと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ●各月に行う清掃箇所の計画を立案し、屋内・屋外共に環境整備を行っていく。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | <ul style="list-style-type: none"> ●活動の報告を通じて地域の方に知っていただくため、広報誌を年3～4回の予定で地域及び家族宛に配布する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の活動の様子等が分かる広報誌を年3回発行してご家族様には配布を行ったが地域の方には配ることができなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の方からの飛び込み相談はあまりない。相談できる場所であるとPRする必要がある。 ●運営推進会議でお便りの提示を行ってみてはどうか。 ●職員は地域の人とあった場合、挨拶を行い顔なじみの関係構築に勤めたほうが良いのでは。 | <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の際に、お便りの提示を行い、事業所の活動等を分かって頂けるようにする。 ●職員は地域住民の方に会った際は挨拶を行い、地域住民の方々との顔なじみの関係が築けるように取り組んでいく。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | <ul style="list-style-type: none"> ●地域行事においては積極的に参加をし、職員の顔を知ってもらい関わりが持てるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ご利用者の方から地域の行事やイベントに参加してもらっているが、ご利用者の代表として参加することになってしまい、ご利用者の家族へ行事に参加していないように見えてしまう。 ●季節に応じた外出を企画しお連れすることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●作品展やお祭り、運動会に参加したことを上手く広報誌で伝えることができていないのでは？ ●広報誌を運営推進会議の委員の方に送ってみてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域のイベント、行事に利用者・職員が参加できるように年間の予定を立てて参加する。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の参加者から、地域に住まわれている方々の特色や問題を聞き、検討の場とする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議でコミュニティセンターの館長から地域の特色や地域での出来事をお聞きすることはできたが、個人情報保護の観点から問題を検討しなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の方等の事例検討は個人情報保護の観点から難しい部分。困っている人がいたらまず民生委員か地域包括センターではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の心配の方の情報を得た場合は、速やかに地域包括支援センターに報告し、連携をはかる。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議開催日に防災訓練を設け、会議参加者から訓練の様子を見ていただき、意見や要望から今後の改善につなげて行く。 | <ul style="list-style-type: none"> ●5月の運営推進会議開催日に防災訓練を設け、地域の方や会議参加者から訓練の様子を見ていただき意見など頂戴し改善につなげた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●年に1回は、地域の方や運営推進会議の委員の方にも参加してもらってはどうか。 ●特に近隣の方に参加してもらえようとした方が良いのでは。 | <ul style="list-style-type: none"> ●年に1回は地域の方、近隣の方、運営推進会議の委員の方からも参加して頂けるように、参加の案内を行っていく。 |